



# 神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2010-2011年度 R I 会長 レイ・クリンギンスミス



地域を育み、大陸をつなぐ

2010-2011年度 第2590地区ガバナー 川野 正久

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| ● 会長 横山 範夫      | ● 会長エレクト 加藤 仁昭  |
| ● 副会長 山邊 淳      | ● 副会長 月山 勇      |
| ● 幹事 飯田 泰之      | ● 副幹事 天野 公史     |
| ● 会計 朝日 達夫      | ● 副会計 田口 健太郎    |
| ● S A A 伊澤 政宏   | ● 副 S A A 小池 将夫 |
| ● 副 S A A 山本 芳弘 | ● クラブ会報 金森 欣一   |

●クラブテーマ「コミュニケーション」●



- 事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
- 例会日** 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
- 例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和51年5月29日
- URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail** [kerc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kerc@beach.ocn.ne.jp)

2010-2011年度 第28号週報 No. 1682 2011年(平成23年) 1月28日 第1682回例会記録 2月4日発行

## 古川陽太郎 会員 ご逝去



かねてより病氣療養中の古川陽太郎会員が、平成 22 年 12 月 26 日、ご逝去なさいました。(享年 62 歳)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

— 弔 辞 —

神奈川東ロータリークラブを代表致しまして、故 古川陽太郎 先生のご霊前に、謹んでお別れの言葉を捧げます。

先生のご逝去を知らされたのは、昨年 12 月 26 日、正に我クラブの『年忘れ家族会』の日でした。

62 歳という早過ぎるご逝去は、ご家族、ご親族のみならず、私たちクラブ会員一同にとっても、誠に残念無念の極みであります。

古川先生は、平成 11 年 4 月、我クラブに入会され、副会長、幹事、主要委員長も歴任され、我クラブ創立者である初代会長の父君、故 古川俊一郎氏と同様に、いずれクラブ会長として活躍される筈でした。本当に貴重な存在を亡くし、残念でなりません。

古川先生の急逝は、奥様、ご息女、ご親族の大きな痛手と拝察します。ましてや、病院建設半ばでの世界。我クラブ会員一同、少しでもお力になればと存じております。どうぞ遠慮なくご相談下さい。

別れは辛くて名残は尽きませんが、古川先生の努力が果報となる日をここに信じて、ご冥福をお祈り申し上げます。

どうか、安らかに眠り下さい。

平成 23 年 2 月 5 日

神奈川東ロータリークラブ  
第 35 代・会長 横山 範夫

### ロータリー歴

- 1999 年 4 月 入会
- 2001 年～ 2002 年 クラブ会報委員長
- 2002 年～ 2003 年 R財団委員長
- 2003 年～ 2004 年 会員増強委員長
- 2004 年～ 2005 年 親睦活動委員長
- 2005 年～ 2006 年 社会奉仕委員長
- 2007 年～ 2008 年 副幹事
- 2008 年～ 2009 年 幹事
- 2009 年～ 2010 年 地区インターアクト委員、副会長
- 2010 年～ 2011 年 地区インターアクト委員、地区危機管理委員

**司 会** 天野 公史 副幹事

**点 鐘** 横山 範夫 会長

- ・横浜東RAC 1月第2例会と2月第1例会の案内が来ておりますので回覧します。
- ・スリランカの井戸の写真を鈴木一男さんからメールで頂きましたので回覧します。

**齊 唱** 「手に手つないで」

**出席報告** 森永 健 委員長

**四つのテスト** 江森 国一 職業奉仕委員長  
(第1例会のみ)

会員総数	55名	(40+15)名	
出席会員数	40名	(32+8)名	
出席率	83.33%		
ゲスト	1名	ビジター	2名
前回補正後	89.80%	前々回補正後	97.92%

**ゲスト紹介** OWOP協会 会長 鈴木 一男 様

**ビジター紹介** 神奈川RC 田中 幸男 様  
神奈川RC 樋口 明 様

**スマイルボックス** 山本 芳弘 副SAA

神奈川RC 田中幸男様 お世話になります。  
神奈川RC 樋口 明様 先週の合同夜間例会ではお世話になりました。お疲れ様でした。

**結婚記念日祝** 角田 伯雄 会員 (1月28日)  
高田 修 会員 (1月29日)



角田伯雄君 ①結婚祝い、ありがとうございます。②伊澤さん、先日はお世話になりました。

高田 修君 長男の年齢+3年=27回目、『高田家の結婚記念日の方程式』です。長男の年齢がわからなくなると解は求められません。

月山 勇君 脇田さん、先日は大変結構なお品、たくさんお届け頂きありがとうございます。

山本 登君 インフルエンザが再び増加中。要注意です。

河野明光君 OWOP協会 鈴木会長、ようこそ。お元気なお顔を拝見し、嬉しく思います。

脇田いすゞさん 寒いですねえ。今日は古川会員の話をする予定ですが、寂しいです。

茂木知子さん これって愛?風邪で寝込みました。主人に水を頼むと「飲みに行くから」と言って缶ジュースを持って来ました。

伊澤政宏君 先日、神奈川RCとの合同賀詞交歓会に参加の皆様、ご苦労様でした。

山本芳弘君 寒い日が続きます。皆様、ご自愛下さい。本日、早退させていただきます。

**会長報告**

- ・1月度定例理事会報告

**幹事報告**

- ・3月5日に開催されますIMの登録料7000円のうち、2000円を次週より集金致しますのでよろしくお願ひ致します。
- ・次週、国際奉仕によるクラブフォーラムがございます。大勢の参加をお願い致します。
- ・2010年度版手続要覧が出来上がって来ております。申込書を回覧致しますので購入を希望される方は名前を明記願ひます。なお、価格は1冊700円となります。
- ・米山特別寄付金の確定申告用領収証を本日各ボックスへ配布致しました。申告の際に税務署へ提出をお願い致します。なお、普通寄付金の領収証につきましては12月に配布済です。

1月28日	11件	29,500円
本年度累計		1,350,100円

**本日〈2月4日〉のプログラム**

- ◆齊 唱 「君が代」「奉仕の理想」
- ◆献 立 幕の内弁当
- ◆卓 話 「今年度の地区国際奉仕委員会」

第2590地区 国際奉仕委員会 委員長 露木 雄二 様  
(紹介者 高田 修 国際奉仕委員長)

## 「故 古川陽太郎 会員を偲んで」

## ◆石川 正三 会員



亡くなった会員の偲ぶ会を卓話の時間にすることは記憶にありませんので、調べてみますと、私の入会前の昭和55年、クラブの創立会員である神名勉聡さん以来のことです。

もっとも身近にいた会員として、これを企画して下さった会長、幹事、それにプログラム委員会の川邊委員長のご配慮に先ず感謝申し上げます。

この機会に故人の入会の裏話をご披露致します。

平成10年の年末、クラブの6代目の会長で、私共の病院の筆頭理事をされていた白井恒夫会員から「陽太郎もそろそろ50歳。それにしては友達が少ないので、クラブに入れようよ。」と言われました。当時、彼は大病をしたあとで、お酒も控え目、46歳にして授かった子供さんが可愛い盛りでマイホーム主義に徹しており、夜の会合も避けがちでした。性格的には人の好き嫌いが激しく、その反面、シャイで気の弱いところもあって、私は彼がクラブに入会してクラブでの様々なお付き合いが出来るかどうか危惧しておりました。そこで、彼の若い頃からの知る6人の長老会員に意見を伺いました。すると、お二人の会員から「陽太郎がクラブの受付なんかを素直にするとするか？とても無理だ。初代会長の息子が一週間で退会するようなことになったらどうするんだ。」などと、強硬に反対され、頭を抱えました。

ところが、これがロータリアンの有難いところです。二週間後にお二人から「最近の様子を調べてみたら結構大人になっているようなので、前言を取り消すよ。入会させようよ。」と異口同音の賛成の意向を伝えられました。

私の予想以上に、ロータリーを愛し、クラブライフにのめり込んだ平成11年4月の入会以降のことは、皆様のご存知の通りです。

振り返ってみますと、クラブに入会して、業種の異なる多くの方々を知り合い、多くの心を許しあえる友達を得て、古川陽太郎の50歳代の10年間は彼の人生の中で最も良き、楽しい時代だったと思います。15歳も年上の私がこのようなことを話すことになるとは・・・誠に無念であります。

私流に言えば、“彼を快く育てて下さった”多くの会員の皆様に改めて心からお礼を申し上げます。

## ◆月山 勇 会員

既にお亡くなりになった若林会員とのことから話をさせていただきます。

若林会員が平成9年4月に入会され、同期で仲の良かった河野さんと“昼食でもたまに食べよう”と、私と3名で東神奈川のゴルフジョイのレストランで、不定期ではありますが昼食会を開いた時から始まります。残念ながら、平成15年2月14日に若林会員がお亡くなりになり、その後、古川先生が意志を継いだということではありませんが、昼食会はたまにして、“お茶会をやろう”との声掛けで神奈川新町のドトールコーヒーでお茶会が始まりました。

例の古びたベストに、何だかたくさんのお物をポケットに詰め込み、必ず、毎週午後3時、コーヒーを飲みながら待っていました。

当初は、河野さん、青柳さん、横山さん、脇田さん、江森さん、須永さん、と多い時には7～8名が集まり、ワイワイ、ガヤガヤ・・・。

しかし、ここ1～2年は、古川先生と横山さんと私の3名、時には脇田さん、と少し寂しい集まりになりました。

## 古川先生がお元気なお茶会での時

“気の合った仲間でも何か旨いもの食べにいかない？”・・・とのこと。古川先生も本当は寂しがりやで何かのキッカケ作りで集まる算段をしており、私にその幹事役・・・と言っても“月さんは意外と旨いもの食せる店知ってるんだ”とおだてられ、役を引き受けさせられた次第で、そのおだてられた人が脇田さんであり、須永さんであり・・・その度に、あの店の味はどうのこうの、店員の態度はどうのこうの・・・と言いながら、“今度いつやる？”“何食べる？”と言いつづけていました。

その旨いもの会で忘れられない会合がありました。

昨年春です。須永さんが「そば食い」と聞きつけた古川先生から“月さん、そばと酒の旨い店知らない？”と声掛けがあり、“まずまずのそばを出す店なら中区にあるよ”と伝えましたら、“じゃあ、そこに決めたからね”。そして、“注文があるんだけどさ、石川さんが相模灘と言うお酒、美味しいよと言ってたんだけど手に入る？”とまた注文。





幹事役でもありますから手を尽くし、入手し、持ち込んだところ、“さすが月さん、幹事はこれからも頼むよ。”とのこと。またまたおだてられ・・・。

しかし、その時はクラブ内で何かと問題が起きていた時でして、でも、その会合は、非常に和気あいあい、古川先生もよほど楽しかったとみえ、翌日、土曜日でしたがお礼のメールを頂きました。

先生の人柄を偲ばれるメールですので、個人名が入りますが失礼をお許し頂き、原文のまま披露させていただきます。

<4月24日 12:18 (件名)昨夜はご馳走様でした・・・>

旨い料理と月さんの『相模灘』のお蔭で、すっかりご馳走になり、誠にありがとうございました。

メンツの選定も、人数も『旨いモノかい?』にはちょうど良く、久々に楽しく有意義な会話も出来て、実り多い集まりになりました。

富さんなんか『本来のテーブルミーティングもこうでなければならぬよね?』・・・と書いていましたし、皆も同感していましたよ。

クラブの事や人との付き合い方、上に立つ者の人柄、責務、器の大きさ、それを支えるNo. 2の役割、さらにそれらに一致協力して行く皆の責務・・・などについても、忌憚や遠慮のない意見が十分に出ましたよね?

この気概を持って、クラブ丸になって、横チャン年度を盛り上げ、以前の様な、いやそれ以上に実力とまとまりのあるクラブを作って行きましょう。

私もいつかは会長職を引き受けなければならないでしょうが、大変参考になる集まりだったと思っています。

楽しく、有意義な集まりを開催して下さい、本当にありがとうございました。

奇しくも、若林さんも63歳、古川先生も今月1月13日で63歳。本当に本当に悲しい、いや悔しい気持ちでいっぱいです。

気遣い、気配り、思いやりのこもった最後の最後に力を振り絞ったメールのやり取りを、また全文のままお伝えします。

11月5日の夜です。集中治療室に入る前日でした。

<11月5日 18:54 (件名)ご心配を掛け、本当に申し訳ありません>

今回の再入院は、腹部手術を受ける為のものでした。

しかし、既に手術は終了したものの、術後の経過が勝れません。

<11月5日 19:31 (件名)同上>

しかし、今回は胃と大腸の2ヶ所の手術を受けた以降、一週間経っても未だ立てませんし、歩けません。こんなに衰弱していますので、呉々もお見舞いはご辞退させていただきます。

残念です。心からご冥福をお祈り申し上げます。

## ◆河野 明光 会員



時はうつろい、諸行無常の中、心からロータリークラブを愛した一人の尊い生命との別れの時がこんなにも早く訪れようとは・・・。

「在りての厭い、亡くての偲び」の例え通り、在りし日の彼が時折みせる傲慢な振る舞いをうとましく思うこともありましたが、いざ死なれてみると、今度は良い点ばかりが走馬灯のように思い起こされて慕わしく寂しい・・・。

そうでした・・・彼は似顔絵を書くのがとても上手でした。

被写体となる者の顔の部位や表情の特徴を描写し、人によっては昆虫や動物に置き換えて描く彼の似顔絵は傑作でした。

恐らくご尊父様の芸術的才能の一面を引き継がれたのでしょう。

その被写体となる者は、時として卓話者にまでおよび、隣で卓話の内容をメモ用紙に写し取っているのかと思いきや、私の脇腹をつつき、「この父ちゃん、こんな感じか?」、差し出された似顔絵と卓話者を見比べ、必死に笑いを堪えることも幾度かありました。

また、彼は自他共に認める毒舌家でもあり、辛辣な皮肉や批判の毒舌をふるうこともありましたが、反面、物事を例え話に置き換えて誰にも解り易く話しをすることに大変長けていました。「ほお～、なるほどネ、上手く例えて表現するものだな。」と、その度に感心して拝聴していました。

今、思えば似顔絵を描くことや、物事を例え話に置き換えて解り易く話すことは、彼にとって他愛の無い共通感覚であったのでしょう。物の形体や事柄、感情などを客観的に観てそれを絵や言葉で表現することなど、私など凡人には及びも付かぬ才覚の持ち主だったのだと今になって気付く始末です。

そして、私たちも例外なく仲の良い時ばかりではありませんでした。

会長、副会長の役職関係にあった昨年度、ちょっとしたボタンの掛け違いが原因で「この男とは生涯絶交だ!」と、互いにいがみ合った時期もありました。しかし、任期が明け、共にひな壇を降りて2ヶ月も経たぬ間に、どちらからとも無く同じテーブルを囲むようになり、気付いたときは隣に席して飲み会の相談をしていました。

まさに彼とは「合縁奇縁」の不思議なご縁で繋がっていたのだなと感じています。

彼との思い出を綴れば尽きることなどありません。

最後に、自らの夢が現実に形と成し、それを自らの意志を継ぐ者へ襍を渡し、言葉をかけることの出来なかった彼の無念の思いは察しても、察しても余りあります。

古川陽太郎君のご冥福を心からお祈り申し上げます。  
合掌。

#### ◆伊東 英紀 会員



古川君、僕は今、深い悲しみと寂しさの中で君に哀悼の言葉を捧げなければなりません。

ついこの間、楽しく酒を酌み交わした君が卒然として黄泉の旅に立たれてしまうなんて、とても信じられません。

思い起こせば君とは同じ町内に住み、同じ中学、高校を卒業。ロータリーでも2代目の会員として同じクラブに所属し、同じ様な人生を過して来たのではないかと思います。

その後、君は父親と同じ医者の方に進み、その間、色々な苦勞、プレッシャーがあったと思います。父親の後を継ぎ、院長として約25年が経ちますが、その間、病院経営の苦勞で投げ出したくなった時期もあったのではないかと思います。

しかし、この何年か前から新しい病院の建て替えの話があり、とんとん拍子で仮病院の建設まで進み、“俺の人生、こんなに運が向いてきて、素晴らしいブレン、良きスタッフに恵まれ、ここまで出来たことを感謝し、この思いを世間に返して行かなければ”とつくづく言っていたのが、ついこの間のこの様です。

最愛の子供、奥さんを残し、新しい病院の院長の椅子に座ることなく旅立ってしまうなんて！

古川君、あとは素晴らしいブレン、良きスタッフが立派な病院にしてくれると思います。

どうか安らかに永遠の眠りにおつき下さい。

さようなら・・・。

#### ◆西山 潔 会員

私と古川先生との出会いは、先生が神奈川東ロータリークラブに入会された平成11年4月2日が初めてでした。

私は生まれた時から大口に住み、先生が小さい頃は新子安にお住

まいになられていたそうですが、大口と新子安という近距離にも関わらず、お会いする機会が無かったのが今から考えると大変不思議でした。

何故ならば私の小学校の友人たちは皆、古川先生や古川先生の弟さんと、子供の頃よく遊んだという話をよく聞かされました。とは言うものの、古川先生がクラブに入会されて以来、大口の街中や自宅近くでよく顔を合わせる様になりました。きっと以前にもよくすれ違っていたのだらうと思います。

お会いする時には必ずお嬢様がいつも一緒されていました。私も私の長女と一緒に散歩や買い物をしている時でした。その時の印象としましては、大変お子様を大事にされている子煩悩な先生だな、と感心したのを思い出します。私たち親子は、夏になるとよく新横浜プリンスホテルのプールに行きました。そんなある日プールに行くと、偶然にも古川先生親子がプールにいらっしやるではありませんか。これは偶然ではなく運命であったと考えるのが適切であると思わざるを得ませんでした。

それを機会に毎週の様古川先生親子とよく遊んだのを思い出します。お嬢様の愛夢美ちゃんは泳ぎが大変お上手で、私の娘は確か3歳年上でしたが、私の娘は大変悔しがっていたのを思い出します。

また、私の娘は、当時アトピー性皮膚炎がひどく、古川先生には娘のことをとても心配して頂きました。心より感謝申し上げます。

その後、奥様、お嬢様と家族同士のお付き合いが始まり、料理、子供の教育、受験等お互いの情報交換を頻繁にする様になりました。

そんなある日の早朝だと思います。古川先生からの電話で、「歯が痛くて、痛くて我慢出来ない。大至急診てほしい。」という連絡がありました。急に言われても、と思いましたが、昼休みなら時間があるので、とお返事して、昼休みに先生が来院するのを待ちました。あの性格だからきっと、あ〜でもない、こ〜でもない、ひとつひとつのささいなことや文句を言われるのではないかと、実は内心治療を引き受けたことを後悔していました。

歯を拝見すると左上の小白歯がもの見事に割れていました。

後で解ったことですが、先生は固いものが大好きで、歯ごたえのある物を好んで召し上がっていたそうです。現状を説明し抜歯しかないとお話をすると、先生は私が想像していたお返事ではなく、私の言うことに素直に従いますと、おっしゃって下さいました。





医者の不養生とはよく言ったものだと思います、古川先生も長期間の治療を要する菌の状態でした。

それ以来何度も治療にいらっしゃいましたが、治療を受ける姿は普段見る姿はそこにはなく、どなたよりも大変我慢強く、辛抱強く治療を受けられました。

あの姿を思い出しますと、病院での闘病生活もきっと、早く元気になってまた皆とお酒を飲んで、ロータリーの話をすることを楽しみに、我慢強く、辛抱強く病魔と闘っていたのではないかと想像しますと、とても目頭が熱くなってくる思いでいっぱいになります。

私の父と古川先生のお母様とは面識がありまして、よく父は古川先生のお母様の話を古川先生としていました。私の父も菌に衣着せぬ物の言い方をしますのでそのあたりがお互い気が合ったのか私よりもよく父と話をされてから「じゃ、また来るからな。」と言って帰られました。

その父も偶然とは言え古川先生の亡くなられた、平成22年12月26日の早朝、意識不明となり菊名記念病院に救急搬送されました。お蔭様で一命を取り止めましたが、これも偶然と言うか運命的な繋がりを感じずにはいられません。もしかしたら、私の父の代わりに先生が永遠の旅に旅立たれたと考えますと返す言葉もございません。

よく古川先生は私に地域医療の大切さを話してくれましたね。自分を育ててくれた地域を大切に、その社会と人々に感謝し、これらに報いる行動を取ることが大切で、それが社会と自分の為になる。と教えて頂きました。

先生のこの言葉を心に深く刻み込み、今後医療従事者の一人として先生のご意思を継承して地域医療に貢献して参る所存です。

謹んで古川先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

## ◆協田いすゞ 会員



古川会員との出会いは、もちろんロータリーですが、私が最初の例会で名刺交換したのが古川会員でした。

名刺を見てビックリしました。古川病院、院長！！実は半年前から私の父が古川病院へ入院してお世話になっていました。90歳を過ぎていた父は、少しボケていましたし、わがままでしたから、院長を始め、スタッフの方たちは大変だったと思います。1年半くらいお世話になり、92歳で亡くなりました。それから約5年、古川会員とお付き合いをさせて頂き、楽しいこと、辛いこと、嫌なこと、お

互いにあったと思います。

シャイで寂しがりやで、グレーの嫌いな古川会員は、とても優しい方でした。

誕生日が1ヶ月違いなので、何人か集まっては誕生日をやりました。その時頂いたスカーフが形見になってしまいました。

もう一度、先生と飲みたいです。

ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

## クラブニュース

ワンワールド・ワンピープル協会 鈴木一男会長から頂いた写真とメールを紹介致します。

(神奈川県東ロータリー支援井戸 No. 40)

場所：キャンデー県

井戸の部落：51所帯、216人（内幼児32人）

この辺は胡椒や他のスパイス類、そしてゴムの栽培で生計を立てている所です。水田はほんの猫の額ほど、お米は殆ど自家消費用しか栽培出来ません。

所帯あたりの月収は平均6,500ルピー（現在の交換レートで約5,500円ほど）。



この井戸は急な坂を下った水田脇に出来ていました。大きな岩を利用して作ったなかなかユニークな井戸です。

◎次週2月11日は祝日休会

次々週《2月18日》の卓話予定  
テーマ「ボクシング道」

プロボクサー 大橋 秀行 様  
(紹介者 西山 潔 会員)